

# I N F O R M A T I O N



金沢駅 兼六園口 徒歩1分

## 石川県立音楽堂



公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団

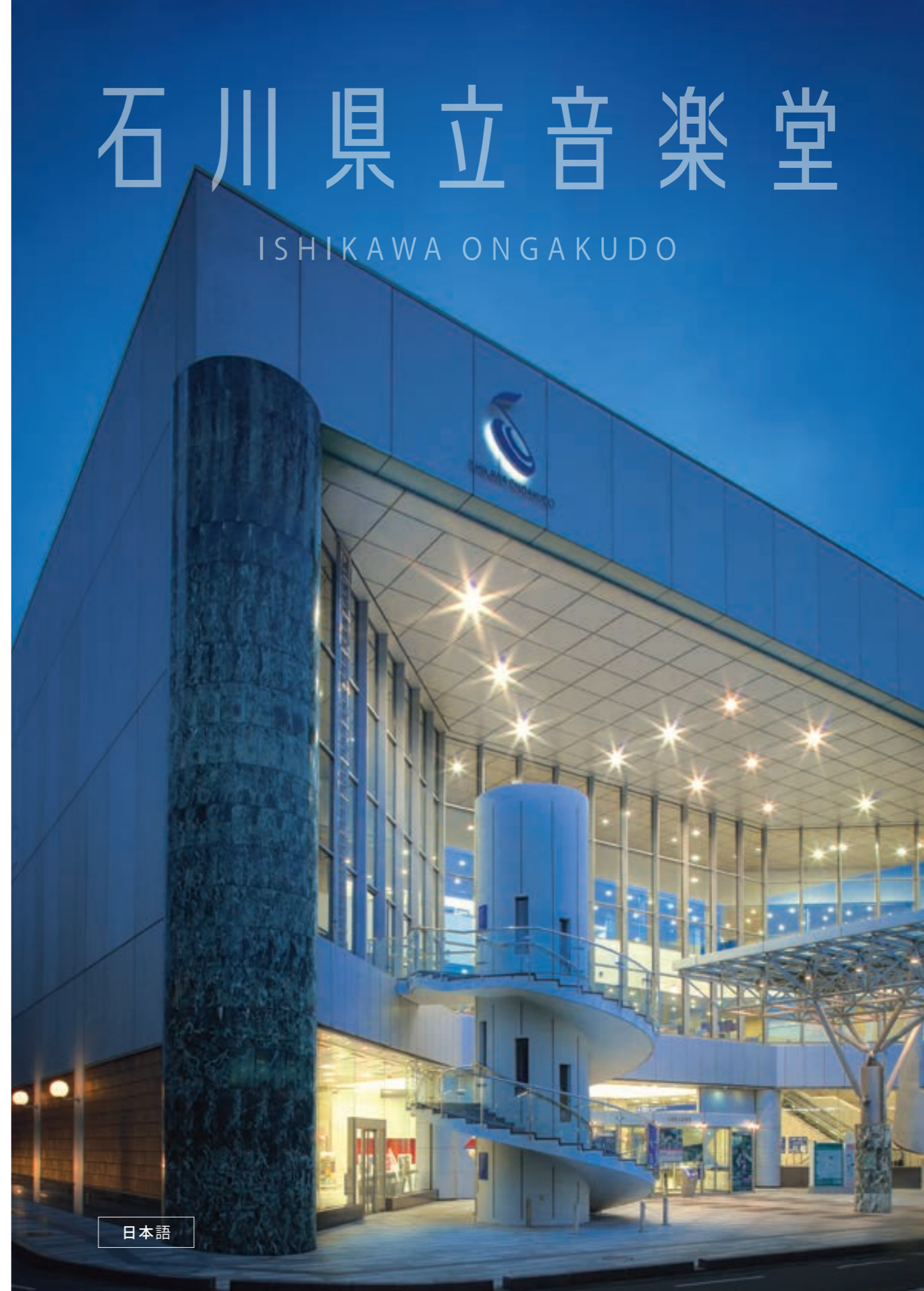
〒920-0856 石川県金沢市昭和町20番1号  
Tel: 076 232 8111 Fax: 076 232 8101  
<https://ongakudo.jp> E-mail: [hall@oek.jp](mailto:hall@oek.jp)

オーケストラ・アンサンブル金沢 (OEK)

Tel: 076 232 0171 Fax: 076 232 8101  
<https://www.oek.jp> E-mail: [office@oek.jp](mailto:office@oek.jp)

# 石川県立音楽堂

ISHIKAWA ONGAKUDO



日本語



## 石川県立音楽堂概要

- 所在地  
石川県金沢市昭和町 20 番 1 号
- 建築概要  
敷地面積 6,904 m<sup>2</sup>  
構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造り  
規模 地上 5 階、地下 2 階  
建築面積 約 6,160 m<sup>2</sup>  
延床面積 約 27,805 m<sup>2</sup>  
建築設計 芦原建築設計研究所  
音響設計 永田音響設計
- 座席数  
コンサートホール  
1,560 席（車椅子対応席 8 席を含む）  
邦楽ホール  
727 席／花道設置時 691 席（車椅子対応席 5 席を含む）  
交流ホール（可動式）  
250 席（段床迫りにより設置）300 席（平床使用）
- その他の施設  
音楽練習室 7 室、邦楽練習室、和室、  
カフェ、クローク、音楽資料室、  
インフォメーション・チケットボックス、  
音楽やすらぎ広場、駐車場、  
オーケストラ・アンサンブル金沢関係諸室

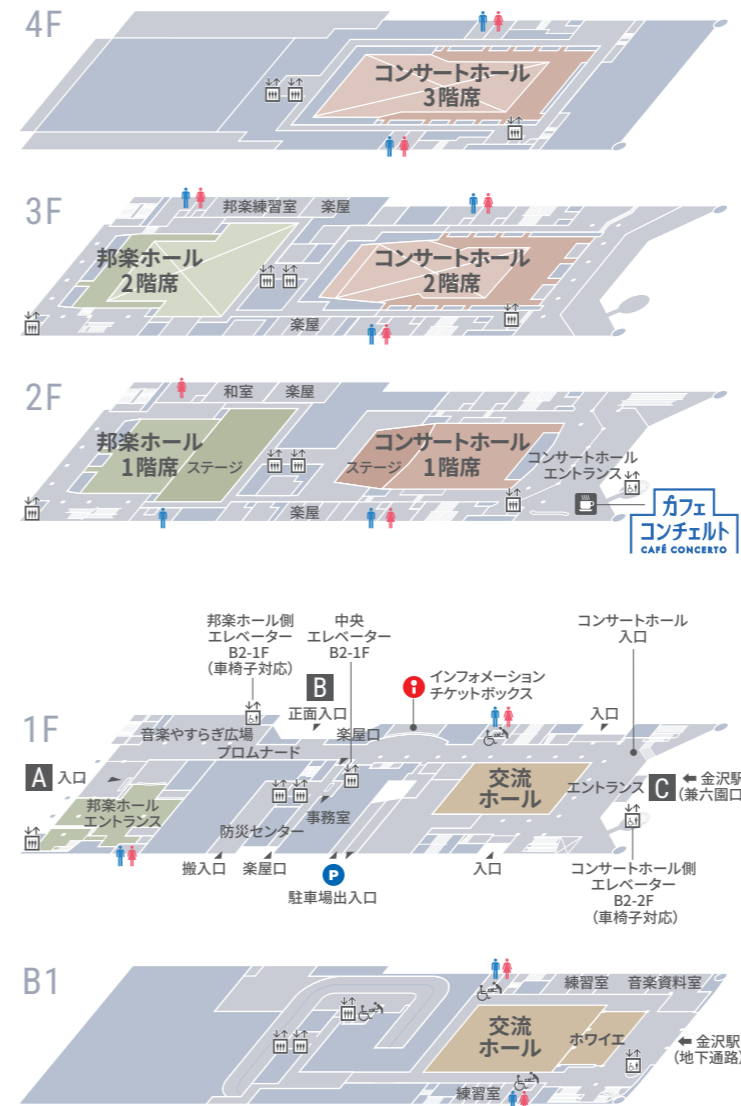
● 開館  
2001 年（平成 13 年）9 月 12 日

## 交通のご案内

- JR  
JR金沢駅 兼六園口（東口）徒歩約 1 分  
関東方面から  
北陸新幹線（東京→金沢／約 2 時間半～3 時間 10 分）  
関西方面から  
サンダーバード（大阪→金沢／約 3 時間）  
中京方面から  
しらすぎ（名古屋→金沢／約 3 時間）
- 車  
関東方面から 北陸道金沢東ICより約 15 分  
関西方面から 北陸道金沢西ICより約 15 分
- 飛行機  
小松空港から高速バス利用で約 40 分

# 未来の音楽文化へ — 石川県立音楽堂

ヨーロッパと日本で培われてきた長い伝統をもつ音楽が、その枠を超えて出会おうとしています。ここ石川の地でも、藩政時代から受け継がれてきた豊かな邦楽文化と、1988年に誕生したオーケストラ・アンサンブル金沢とが、異なる音楽文化のコラボレーションを実現させました。美しい響きを生み出すコンサートホール、多彩な舞台機構を備えた邦楽ホール、多目的に使える交流ホール、それぞれ異なる3つのホールを擁する石川県立音楽堂は、東西の音楽文化の出会いにとどまらず、新しい文化の交流・創造の場となっています。





コンサートホール

## 豊穡の音、至高の響きがここにある

荘厳なパイプオルガンが印象的なコンサートホールは、石川で生まれ育ったオーケストラ・アンサンブル金沢の本拠地となるクラシックホールです。ホールの形状は、音響的に最も優れた形とされるシューボックス形式を採用し、舞台上部に設置した3連の変音響反射板の効果ともあいまって、どのような演奏形態においても高い音響特性とすぐれた臨場感をもたらします。ピアノ・リサイタルから室内楽、フル・オーケストラまで演奏者の感性をあますことなく伝えてくれます。



### オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年、世界的指揮者、故岩城宏之が創設音楽監督（永久名誉音楽監督）を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による定期公演などを行なっている。



## パイプオルガン

コンサートホールの舞台正面には、ドイツ・ロマンティック・タイプのパイプオルガンがあります。その優雅なスタイルは、扇の形をモチーフにしており、演奏台の扉及び譜面台には金沢・兼六園をイメージし、日本の花を代表する「桜」、四季の象徴としての「紅葉」の文様を施してあります。



● 設計・製作	カール・シュツェ社 (ドイツ)	
● 組立	カール・シュツェ社、ヤマハ株式会社	
● 外形寸法	高さ12.5 m、奥行3.7 m、幅13 m	
● パイプ総数	5,143本	
● ストップ数	69ストップ	
● 演奏台		
第1手鍵盤 (I)	Hauptwerk	C-c4 (61 鍵)
第2手鍵盤 (II)	Positive	C-c4 (61 鍵)
第3手鍵盤 (III)	Schwellwerk	C-c4 (61 鍵)
第4手鍵盤 (IV)	Chamadenwerk	C-c4 (61 鍵)
ペダル (P)	Pedal	C-g1 (31 鍵)
	メカニカル・キーアクション	I, II, III, P
	エレクトリック・キーアクション	IV
	エレクトリック・ストップアクション	
● 補助装置		
カプラー	メカニカル	II-I, III-P, II-P, I-P
	エレクトリック	IV-III, IV-II, IV-I, IV-P, III-II, III-I
	Super (4')	III-III, III-II, III-I, III-P
	Sub (16')	III-III, III-II, III-I
	スウェル機構、風圧変更、クラスター、トレモロ機能	
● 記憶装置		
	ヤマハメモリーシステム、メモリーカード	

## コンサートホール概要

● 形式	シューボックス型
● 舞台	開口19.5 m、奥行13 m、高さ20 m
● 残響時間	約2.0秒〈満席時〉
● 舞台機構	可変音響反射板3本 バトン (照明用4本、美術用4本、 サイド照明用2本、サイド美術用2本) 客席部バトン (照明用1本、美術用1本)、 幕類 (水平型〈映写スクリーン兼用〉、吸音幕)
● パイプオルガン	カール・シュツェ社 (ドイツ) 4段手鍵盤、足鍵盤、69ストップ (パイプ数5,143本) 幅約13 m、高さ約12.5 m、奥行約3.7 m
● 座席数	1,560席 (1階席704、2階席414、3階席442) 車椅子対応席8席を含む
● 楽屋	10室 (20 m <sup>2</sup> ~51 m <sup>2</sup> )
● 関係設備	調光室、音響調整室、ロビー、ホワイエ、クローク、カフェ 難聴者補聴設備 (外国語同時通訳設備兼用)



クローク



ホワイエ



楽屋



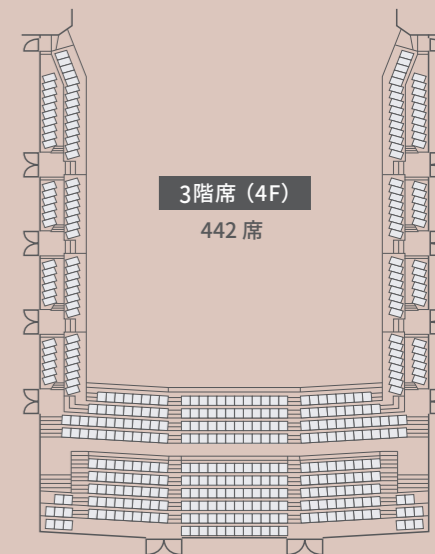
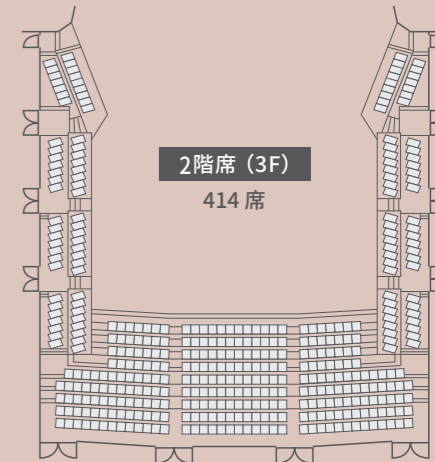
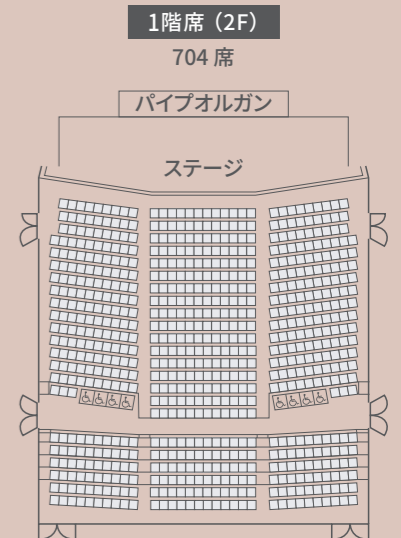
楽屋



楽屋



ステンドグラス「石川の四季」





邦楽ホール

## 伝統の芸、はぐくむ空間

朱壁、船底天井、総桧張りの舞台…… 邦楽ホールはそこに足を踏み入れた途端、見る者すべてを邦楽の世界へと誘います。大小 12 基の迫り機構を内蔵した廻り舞台や可動式の本花道など各種舞台設備を設置し、本格的な歌舞伎から舞踊、長唄、三曲など多様な公演を可能にしています。客席から舞台まですぐ手が届くようなコンパクトな空間は、演じる者の息遣いまでもが感じられることでしょう。



可動式音響反射板を使用した  
邦楽（箏曲）仕様の例



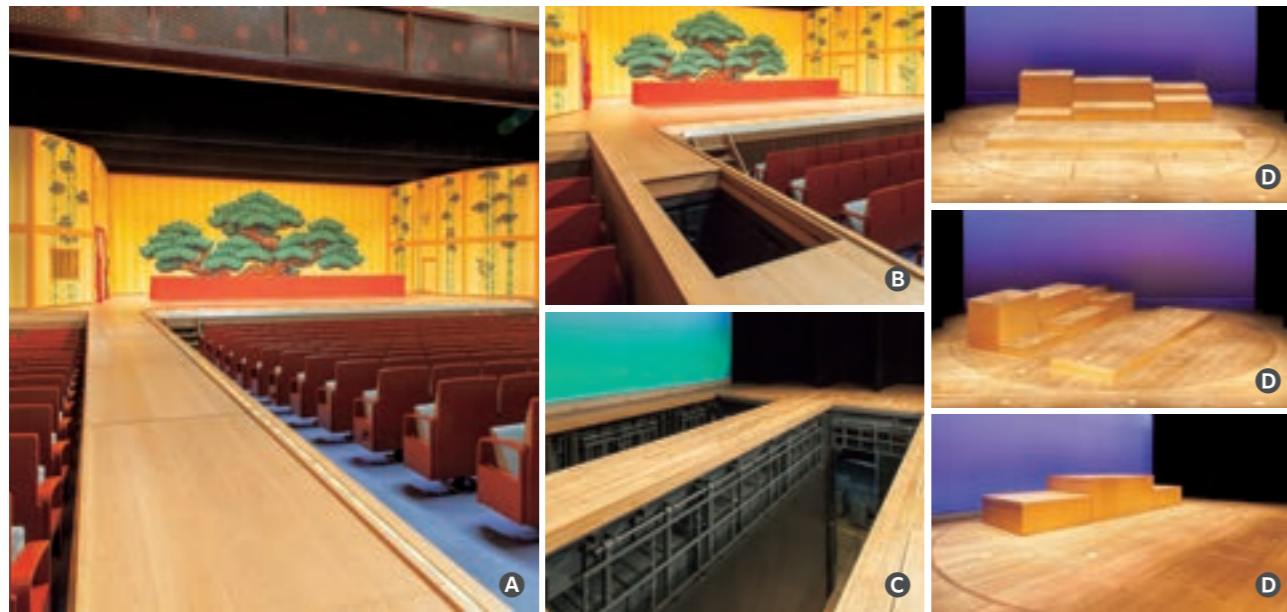
花道を使用した  
日本舞踊仕様の例



落語仕様の例

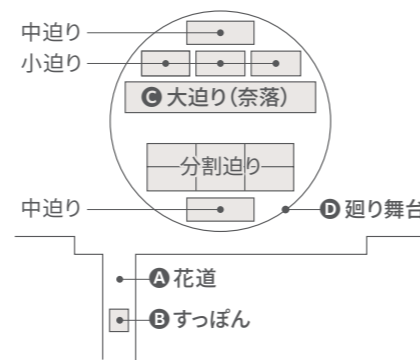


舞台機構を生かしての  
創作舞台仕様の例



### 劇的なシーンをサポートする舞台機構

歌舞伎や長唄、舞踊などあらゆる邦楽の公演に対応できるホールとなっており、廻り舞台には大小合わせて12の迫りが内蔵されています。また、花道は上下に動かすことが可能で花道を使用しない公演では客席として利用が可能です。

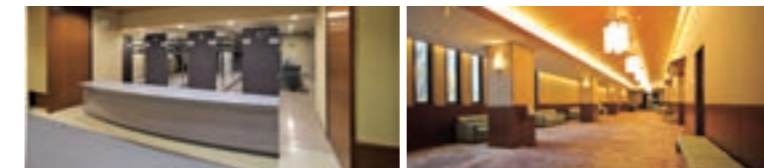


### 舞台を彩る伝統工芸の意匠

- A | 手描き「加賀友禅」としては最大級で全国初の友禅緞帳。
- B | 日本の四季と吉祥花である菊の重なりを表した、前田家 伝来の宝生流能装束を題材にした緞帳。
- C | 金沢漆器による加賀百万石の象徴「梅模様」の壁面くりぬき窓。
- D | 山中漆器の欄間。

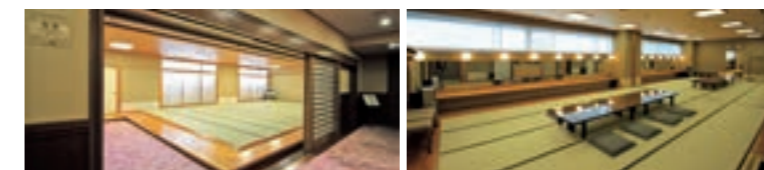
### 邦楽ホール概要

- 舞台 プロセニウムステージ 幅30m、奥行15m、すのこ高さ20m  
プロセニウム開口 幅16.6m、高さ6.3m
- 残響時間 約1.2秒〈満席時〉
- 舞台機構 バトン(照明用9本、美術用18本、幕類用20本)  
幕類(緞帳、暗転幕、定式幕、引割幕、一文字幕、中ホリゾン幕、袖幕、大黒幕、東西幕、ホリゾン幕)  
花道: 昇降式本花道(すっぽん迫り付)  
廻り舞台: 7間盆(迫り機構内蔵)  
迫り: 大迫り、分割迫り(6分割)、中迫り(2基)、小迫り(3基)  
大臣囲(可動)  
可動音響反射板
- 座席数 727席(1階席524、2階席203)  
花道設置時691席 車椅子席対応席5席を含む
- 楽屋 9室(16㎡~111㎡)、和室(98㎡)、邦楽練習室(100㎡)
- 関係設備 調光室、音響調整室、ロビー、ホワイエ、クローク、カフェ、難聴者補聴設備(外国語同時通訳設備兼用)



クローク

ホワイエ

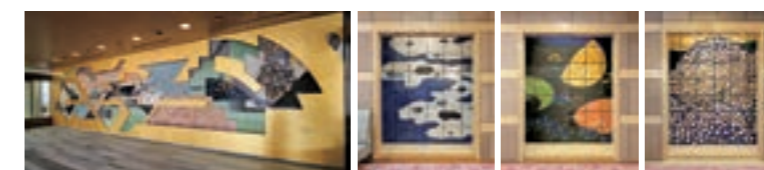


和室

楽屋



邦楽練習室



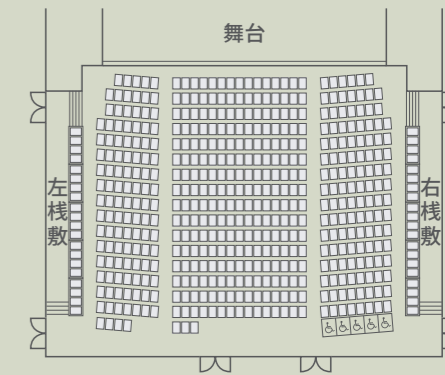
壁面パネル  
「四季-彩流-(九谷焼)」

邦楽ホール エントランス  
「雪・月・花(九谷焼)」



1階席(2F)

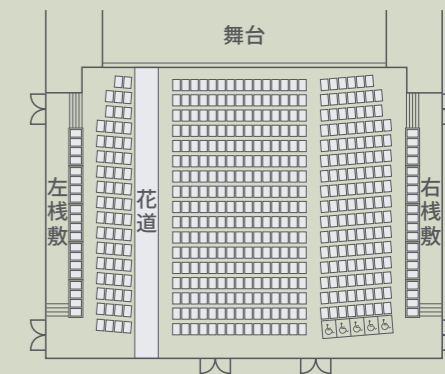
524席



1階席(2F)

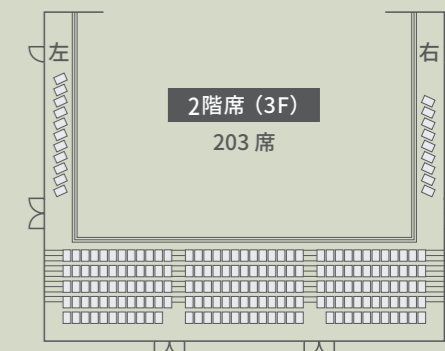
488席

(花道を使用する場合)



2階席(3F)

203席





交流ホール

## 文化が交わる、創造的空間

交流ホールは金沢駅地下広場と一体となった賑わい創出空間となっており、1FとB1Fを上下する巨大な迫りフェンスにより520㎡ギャラリーとして、または1Fから連続するオープンステージとして空間を自在に変化させることができます。さらに、9分割の舞台迫り、B1Fと1Fを結ぶ段床迫りによる多彩なステージレイアウトを可能にしており、自由で創造的な表現の場としてご利用いただけます。

### 交流ホール概要

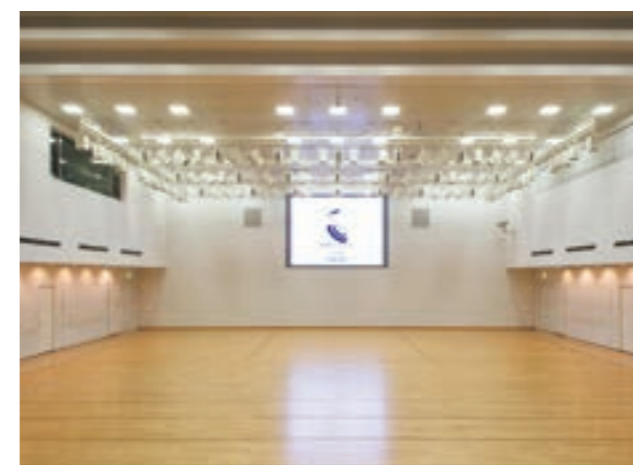
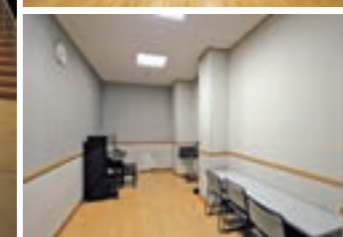
- 大きさ 幅17.3～19.8m、奥行26m、高さ7.3～8.4m
- 舞台 舞台迫りにより設置 開口16.8m、奥行9m／9分割
- 舞台機構 バトン（照明用7本、美術用4本）  
舞台迫り（9分割）、段床迫り（9列10段）  
迫りフェンス（地下1階⇄1階）
- 映像 LED方式大型映像装置（スクリーン 幅4.56m、高さ3.36m）
- 座席数 250～400席 段床迫りにより設置（9列9段）
- 控室 2室（36㎡）
- 関係設備 照明・音響調整室、ホワイエ



舞台（段床迫り・昇降式客席）



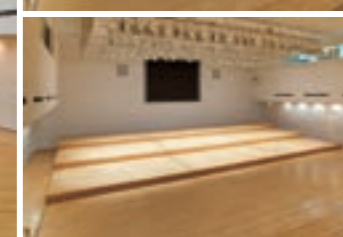
練習室（大・小）



オールフラット



変形舞台の様子



その他施設

## 人と文化が響き合う

音楽堂には、ホールの他、いつでも気軽に立ち寄れる施設を用意しております。会館のご案内、チケットの販売や公演情報の提供を行う「インフォメーション・チケットボックス」、全室にピアノを設置した「練習室」、音楽や映像の視聴や音楽関係資料の閲覧ができる「音楽資料室」があります。

コンサートホール・邦楽ホール・交流ホール

## コンベンション会場として

1,560人収容のコンサートホール、727人収容の邦楽ホール、展示場にもなる250人収容の交流ホールや様々な規模のイベントに対応できます。JR金沢駅と地下通路で直結し周辺のホテルと併せた大規模イベントの実績多数。



カフェ・コンチェルト



プロムナード



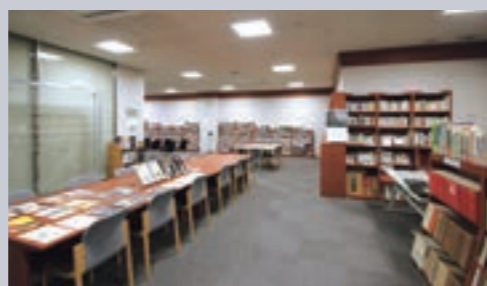
コンサートホール



受付の様子(例)



インフォメーション / チケットボックス



音楽資料室(土・日 10:00 ~ 18:00)



邦楽ホール



交流ホール